

# 会 議 録

## 1 会議名

第4回浦川原区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 報告（公開）

ア 会長報告

① NPO夢あふれるまち浦川原について

イ 委員報告

① 時間外における業務の対応について

② 委員及び事務局職員の連絡先について

ウ 市からの報告

① 地域活動支援事業の審査結果及び通知結果について

② 出張何でも懇談会の開催結果について

### (2) 協議（公開）

ア 中学生との意見交換会について

イ 地域協議会委員学習会の開催について

ウ 地域協議会だよりの発行について

エ 地域協議会委員の勤務先への協力要請について

オ 次回の開催日について

### (3) その他（公開）

## 3 開催日時

平成28年7月25日（月）午後6時30分から午後8時10分まで

## 4 開催場所

浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4、5

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：五十嵐広美、池田幸博、市村一雄、杉田和久、西山康博、福井克利、藤田宏裕

会長、前島邦子、村松清、村松進副会長、和栗恵子副会長

- ・事務局：浦川原区総合事務所奥田所長、岩野次長、総務・地域振興グループ西山グループ長、産業グループ山崎グループ長、建設グループ小林グループ長、教育・文化グループ南雲グループ長、総務・地域振興グループ飯野班長、宮川班長

## 8 発言の内容

### 【藤田会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告
- ・出席委員は11人。市村委員が遅れるとの連絡があったが、会議開始前に着席。欠席委員は金子委員
- ・会議録の確認：市村一雄委員

### 【藤田会長】

それでは、「2 報告」へ入る。「(1) 会長報告」で1件報告する。資料はなく口頭で説明させていただく。

平成28年7月11日付で地域協議会とNPO夢あふれるまち浦川原との件について要望があり、その内容について報告を申し上げる。7月22日の午前9時30分から午前11時05分まで会長、副会長2名、事務局の皆さんとNPO夢あふれるまち浦川原と話し合いを行った。NPO夢あふれるまち浦川原の出席者は大滝理事長、坂口副理事長、堀井事務局長の3名である。

地域協議会会長宛に住民の有志からNPO夢あふれるまち浦川原へ働きかけをしてほしいと要望があった。いきなり地域協議会の場で皆さんに問題提起しても、なかなかご理解いただけない部分もあり苦慮した。皆さんの見解を賜って真摯に協議し、その上で、地域協議会でどうすれば良いか、方向性を決めたいと思っている。

地域協議会として心配しているところは、地域住民の理解と協力を得られるように協力をお願いしたいという思いである。正副会長とNPO夢あふれるまち浦川原のトップ役員と事務局で話し合った内容は、以下の4点である。

6月30日に開催されたNPO夢あふれるまち浦川原の総会で異議が出た。内容は貸借対照表と決算書について3日以内に改めて報告するという話をいただいていたが、まだ出ていないということが1点。

2点目は、有志の皆さんの願いは、「善意で申し出ていることであり、なるべく会

員の負担を少なくしてほしい。」ということである。これについては会員であるため貸借対照表、決算書について精査したところによると非常に心配な部分があるということである。

そして3点目は、「事業を行っている以上は雇用に対する影響が大きいのではないか。」ということであり、これについては食堂の閉鎖の問題が出てきて、当然雇用につながることであり、この部分について心配であるということである。

4点目は、地域協議会として地域活動支援事業、今回も皆さんから討議いただいたが、この制度ができた平成22年度から支援をしてきた経緯があった。それが十分に活用されているかどうかについて心配いただいている。以上、この4点について話し合いをさせていただいた。

7月22日の会議では、すれちがう場面もあり、NPO夢あふれるまち浦川原は「修正したものを3日以内に出すとは言っていない。」ということであった。これは地域協議会の正副会長の中でも「それは違うのではないか。」という話も出た。そして「財務諸表は整理したい。」と「作成したものを監査から見ていただいてから提出したい。」ということであった。そして活動報告書で会員状況等については「会費と寄付金の在り方について定款を変更すべきことも含め整理する必要性が出てきている。」ということで話し合いをさせていただいた。活動報告について、会費と寄付金の在り方、いわゆる会員の整理の仕方、寄付金の整理の仕方について整理する必要があるということであった。そして、7月25日ころという話だったが、NPO夢あふれるまち浦川原で理事会を開催し、これらのことについて意見を集約し、その後、間に合い次第ということだが、7月末までに会員の皆さんに文書でお知らせしたいということで話し合われた。

地域協議会とNPO夢あふれるまち浦川原との意見交換という形で地域協議会の場へ上げる前にどうしたら良いかということ三役で協議させていただいた。いきなり出しても議論の内容に入ることができないだろうということで、三役でお話をさせていただいて、今、皆さんへの報告とさせていただいた。以上である。

次に「(2) 委員報告」は何かあるか。

#### 【市村委員】

休日の日に、ゴミステーションのところでゴミがいっぱいになっており、箱の予備もなく宿直の方に「ここにあるか。」と聞いたら、「ない。」と言われ、それで終わってしまった。祝日など万が一に何かあった場合の対応等はどうなっているのかと感じた。死亡届等は対応してもらえと思うが、それ以外、何かあった場合に、例えば「行政の

誰々さんに電話すれば対応してもらえます。」というような対応はできないのかと感じた。たまたま、環境サービスの会社がやっているのを見かけたので、直接電話させていただいたが、そういったことに限らず、休日でもいろいろなことがあるのではないかと思ったので、お願いしたい。

私は今日遅れてきたが、そういった連絡をする場合、担当の飯野班長だけでも良いのだが、携帯番号を我々に教えていただきたい。我々委員同士でそういったことはないと言われてればそれまでだが、そのような対応はしていただけるのか。

**【奥田所長】**

時間外受付の対応だが、時間外、特に休日、夜間は宿直の方に問い合わせ、結果が満足いかないものだったりした場合、職員の連絡先は宿直の方に知らせてあり、連絡を取ってほしいということであれば、連絡は取れる。今のケースだと皆さん困っているので何とかしてほしいということで担当職員に連絡した方が良いのではということで連絡を取ることは可能であり、連絡していただいて結構である。休日であり、すぐに対応できるかどうかは別にして、必要に応じて連絡を取っていただいて構わない。

**【総務・地域振興グループ西山グループ長】**

委員の個人的な携帯電話の番号については、事務局に個人的に教えていただいている方もいるが、委員全員の了解をいただければ、一覧表にして皆さんにお配りしたいと思う。良い機会であり、皆さんから協議いただき了解いただければと思う。事務局としては緊急時もあると思うので、教えていただければありがたいと思う。

職員の携帯電話番号については委員の皆さんにお知らせすることは問題ないと思っており、委員の皆さんの携帯電話番号についても了解いただければお配りしたい。

**【市村委員】**

全員でなくても良い。休日に連絡が取れなかった場合があったので、行政サイドでは飯野班長だけでも良いので、お願いしたい。委員の皆さんの番号は教えたくない方もいると思うので無理には言わない。行政側として把握していただければと思う。

**【藤田会長】**

前期は全て知っていた。新しいメンバーでこういった問題も出てきた。顔見知りであり、悪用することは許されないことである。この地域協議会での話し合いであり、業務以外に使うことはないと思われるが、皆さんからご意見がなければ、行政では公開の準備があるということで、していただければありがたいと考えるが、いかがか。

(会場内、声なし)

反応がないということが、一番困る。

(会場内から、「よろしいと思う。」の声)

「良い」「悪い」をきちんと言っていたきたい。議事の進行も困る。また、皆さんがどう考えているのか、地域協議会の将来についても考えて行かなければならないといった問題もあり、意思表示はきちんとしていただくことが大事である。

それでは、携帯電話番号については公開してよろしいと、ただしこの地域協議会のメンバーと関連職員ということでよろしいか。

(会場内一同「はい。」の声)

それでは、会長報告、委員報告についてご質問を承る。よろしいか。

それでは、「(3) 市からの報告」で「① 地域活動支援事業の審査結果及び結果通知について」西山グループ長より説明いただく。

**【総務・地域振興グループ西山グループ長】**

(資料1に沿って説明。)

**【藤田会長】**

これについて、ご質問、ご意見をいただく。よろしいか。

(会場内から「はい。」の声)

それでは、「② 出張なんでも懇談会の開催結果について」西山グループ長から説明をいただく。

**【総務・地域振興グループ西山グループ長】**

(資料2に沿って説明。)

**【藤田会長】**

詳細にわたって4地区の資料をまとめていただいていた。皆さんからご意見をいただきたい。いかがか。

それでは「3 協議」に入る。「(1) 中学生との意見交換について」西山グループ長から説明をいただく。

**【総務・地域振興グループ西山グループ長】**

(資料3に沿って説明。)

**【藤田会長】**

改選前の委員からの願いもあり、続けてほしいということが一つ、平成26年、27年の内容については資料で説明いただいた。やり方としてはいろいろあると思うが、皆さんに、この事業を続けて行くかどうかを協議していただきたい。

## 【市村委員】

一つ確認したいのだが、子どもたちがこれをするにより、「ためになった。」というような思いは持っているのか。ということと、個人的には10月、11月ということだが、先のことは仕事柄読めないで「協力する。」と言っても、当日になって今日のように遅れるといったことが出てくる場合がある。内容的には、できるならやっていただければと思う。「責任を持ってやれ。」と言われても「はい。」と言えない状況である。

## 【総務・地域振興グループ西山グループ長】

子どもたちの感想だが、私は去年、対応させていただいたが、一昨年は結果を前期の副会長の村松千恵子さんから、ワークショップ形式で話し合いがあり、結果を冊子にまとめて、子どもたちが自宅へ持ち帰って親御さんたちも喜んでいと聞いている。

昨年は地域活動支援事業の模擬審査ということで、様子を見ていたら、審査について大人がやっている審査を子どもたちの目で見たとときに、どういった形が良いかということでグループの中で喧々諤々と議論していて、最後に結果発表ということで、非常に子どもたちも喜んでいて、事務局としても成果があったと思っている。地域協議会の委員の方も当日、終わってから「良かった。」と言われていた。また、校長先生からも「子どもたちも喜んでいた。」「子どもたちのためにもなった。」と言われ、「今回、取り組んで良かった。」と話をいただいた。

ということで、成果があったと思っている。まだ2年目であり、毎年項目は違うがその都度、実行委員もどうするか悩みながら取り組んでいただいたが、実行委員の皆さんからも「良かった。」と感想をいただいている。

今回、進め方として、去年と一昨年は違った形で進めたので、同じような形で進めるのが良いのか、違った形で進めるのが良いのか、別の意見交換のやり方があるのか、委員の方の意見があれば出して決めていただいてから、実行委員が細部の組み立てについて協議していただければと思う。

## 【藤田会長】

これは教育の現場であり、当然「教育」ということについて、我々も考えなければならぬし、教育の場の上での活動ということを確認していかなければならない。委員としては、昨年まで実行委員会を立ち上げてやっていた。ここに今おられる方で学校に深くかかわっている方もいらっしゃるのので、その方々の意見を入れながら、12人のメンバーが「どうしよう、こうしよう。」と悩んでいても前へ進まないのので、実行委員会方

式をとって学校側と課題についても折衝して立ち上げていくということが大事だと思っている。

必ずしも昨年、一昨年のおりではなく新しい課題があれば取り組んでいくということ。それともう一つは、こういった活動は28区のどこでもやっていない。浦川原区だけであり、特別な誇りをもって皆さんからの検討を含めての事業だと思っている。実行委員会方式で行うということによろしいか。

#### 【西山委員】

中学生と我々、地域協議会委員という立場でどれだけのことができるのか、どれだけの対応ができるのか、今、聞きながら微妙に感じた。その辺をもう一度整理しないといけないと思うが、中学生と話をして私たちがどういったものを出せるのかについて、どのように考えているのか。

#### 【藤田会長】

過去2回実施した中で、逆に言えば地域がどう応えられるのかといったこと、彼ら中学生が思っていることに対して聞きっぱなし、言いっぱなしではいけないと思っている。というのは、1回目はチャレンジということで、具体的なことを申し上げると、「山本ぶどう園へ行きたくても、うらがわら駅を降りても直ぐにバスがない。」といったような話があり、「浦川原はPRの仕方が下手ではないか。」という話もあった。非常に重く受け止めて、それに対して私たちはフィードバックしたかということ考えた場合、正直言って私たちはできていない。聞きっぱなしである。これで本当に良いのかということで、やはり行政や制度へ反映していかないといけないと、これは地域協議会の仕事だと思っている。

そして、今年の活動では地域活動支援事業の審査をさせていただいた。これも何班かに分かれて我々、委員も分かれてその班に入ってやらせていただいた。これについては、市の予算がこんな風に使われているということを生徒は確認できたと、私は思っている。それによって、自覚というか、去年は200万円近いお金で楽器を購入して、中学校へ入っているわけで、そういったことについても肌で実感したのではないかと思っていて、非常に効果があると思っている。

この組み立てについては、一方的に私たちが「こうする、ああする。」と言っても専門家である学校の先生方の教育という観点からも意見が出てくると思われ、こちらのやりたいことを伝えて行かなければならないと思う。

池田委員は、昨年実行委員に加わっていただいております、経験者であるため池田委員を

中心してはいかがか。意見をどうぞ。

【池田委員】

確かに私は昨年、一昨年と参加させていただいて、我々委員もかなり勉強になった。中学生との意見交換会の開催に向けて持っていくために、実行委員をとということだが、平日に先生方と打合せをしたり、準備して、いろいろと苦労がある。そういったことを考えた場合、実際に体験したのは会長と私だけである。他に意欲的な方がいたら手を挙げていただきたい。

【藤田会長】

池田委員、今のご発言は実行委員のメンバーになっても良いということか。

【池田委員】

委員のメンバーを記入する欄が4段あるが、一番下にしていきたい。

【藤田会長】

順位はない。

【池田委員】

最高責任者ではなく、一番下にしていただけたら、やらせていただいても良い。

【藤田会長】

いかがか、私もメンバーに入りたいという方はおられるか。

【村松進副会長】

昨年は何回くらい集まっているのか。

【藤田会長】

それは、まとめ方だと思う。ある程度、こちらの方向性をまとめておけば学校の方で組み立てていただけたらと思う。

【村松進副会長】

昨年、一昨年の実行委員はどのような方法で決めたのか。

【藤田会長】

はっきりとは記憶していないが、希望者だったと思う。

【村松進副会長】

確かに実行委員は大変だと思う。私もまだ働いており、市村委員の「働いているから云々。」ということだが、やはり地域協議会委員として皆さんから協力できるところは協力していただいて、どうしても当日になって駄目な場合もあるかと思うが、皆さんで協力して欲しいと感じる。私で協力できるところは協力する。この中に女性の方



も含めていただければ良いと思う。できたら男性2人、女性2人でやっていただければ良いと思う。

**【西山委員】**

この会合の進め方、例えば出席者はどのような形になるのか。実行委員4人で進めていく中で、他の委員はどのような立場にいるのか。学校側としてどういった形になるのか、少し説明していただきたい。

**【藤田会長】**

行政側としての進め方もあると思うが、地域協議会としては実行委員にお任せして、例えば10月ということであれば、あと3回地域協議会がある。その中で「こういう協力をいただきたい。」「こういった計画で進めている。」と、随時報告をいただいて、意見を申し上げたり、当日、現場では全委員が協力させていただいた。去年は5班に分かれ、その中に委員の皆さんからも分かれていただき、中学生と一緒に考えていただいた。やり方としては、いろいろあると思うが、あまり心配はいらないと思う。

**【奥田所長】**

中学生との意見交換会について会長から進め方のお話があったが、事務局として担当を1人決めて、実行委員の皆さんとどのような運び方をするのか議論させていただいて、必要に応じて実行委員の皆さんと学校の先生、校長先生を中心として打合せをさせていただく。ただ、それだけでは細かなところまで決まるまで協議が頻繁になってしまうということで、詳細は事務局の方で合間、合間に学校側と相談させていただきその内容を実行委員会の皆さんに報告させていただきながら調整していきたい。

実行委員が決まれば、内容等議論していただき、地域協議会へ報告していただき、学校側との協議も並行して進めて行く。その辺は事務局もしっかりサポートしていきたい。

**【藤田会長】**

女性の方を2人、入っていただいた方が良いということで、欠席裁判のようになってしまうと思うので、五十嵐委員と和栗副会長、いかがか。入っていただけないか。

**【和栗副会長】**

個人的には参加させていただいても良いと、一つのチャンスでもあるのだが、わがままを言って申し訳ないが仕事の関係からすると、前もってわかっていたら良いが、その時になって出てくれとか、協議すると言われても、今日のように夜なら出やすいが、日中だと間際になって仕事を休むということになってしまうので、難しいかなと思う。

**【藤田会長】**

五十嵐委員はいかがか。

**【五十嵐委員】**

意見交換会は大変良いことだと思うが、私自身、委員になって3か月経つが、この協議会の内容も把握できていない。ということで実行委員は無理だと思う。

**【藤田会長】**

いつになれば無理でなくなるのか。

**【五十嵐委員】**

もう少し勉強させていただきたい。

**【藤田会長】**

福井委員はPTA、同窓会という形で深く関わっていて、ご協力いただいていることであり、お願いできるか。今回は特別に男女という形ではなく決めさせていただいて、そして西山委員も協力いただけるか。

西山委員、福井委員、これから確認するが、村松進副会長、そして池田委員ということでお願いしたい。実行委員長は副会長である村松進副会長からリーダーシップを取っていただくようお願いしたい。

これで、実行委員のメンバーが選定できたので、実行委員長として村松進副会長にお願いしながら進めていきたいと思う。よろしく願います。

次に「(2) 地域協議会委員学習会の開催について」今、五十嵐委員から勉強不足といった発言が出たが、その機会を捉えるように、皆さんが地域協議会に席を置いているということで、勉強会を開催するというので、西山グループ長より説明をいただく。

**【総務・地域振興グループ西山グループ長】**

新たに委員に就任された方が大勢いるということで、5月の地域協議会の時にたくさん資料を事務局からお送りしたが、5月は配布だけで終わってしまい中身について説明させていただく機会や、なかなか地域の状況について確認や検討していただく機会がないということで、事務局として考えているのは、5月にお送りした資料もあるが、追加の資料も用意させていただき、浦川原の地域の状況等、いろいろな課題について学習、検討、意見交換の場ができないかと考えている。

学習会について実施することを了解いただけるのであれば、事務局として考えているのは次回の地域協議会の開催日に合わせて、地域協議会終了後に学習会という形で開催させていただければと考えている。ここで提案させていただいて皆さんから協議していただきたい。

**【藤田会長】**

学習会ということで、改めて時間を設けてということとなると、皆さんの時間や仕事の都合もあると思われるので、「(5) 次回の開催日時等について」ということで、8月25日の木曜日か26日の金曜日の午後6時から、30分ほど早めていただいて、協議会も何が出てくるかわからないが、今のところは大きな議題は出てこないと思われるため、早めに地域協議会を終了して閉じた後に継続して勉強会ということでどうかと思っている。

したがって、次回の開催日は8月25日か予備日として26日、時間は午後6時からという形で調整していただき、この委員の学習会をそこで開催したいと思うがいかがか。

**【村松進副会長】**

25日が良いのでは。27日に防災がある。

**【藤田会長】**

それでは8月25日、木曜日の午後6時からということで、地域協議会と学習会という形にさせていただく。

**【市村委員】**

30分ほど早めるだけで良いのか、せつかく学習会という名目であるなら、今日もそうだが、地域協議会の終わりは実質午後8時くらいになるのだろうが、そこから1時間とかで学習会が終わるのかどうか。

**【藤田会長】**

地域協議会で大きな課題がなければ早めに終わるということだ。

**【市村委員】**

だが、1時間はかかるだろうと思われるが。

**【藤田会長】**

そんなにかからないのではないか。

**【市村委員】**

いや、学習会の時間である。

**【藤田会長】**

学習会は皆さんの都合のつく限り、2時間でも、3時間でも構わない。

**【市村委員】**

学習会が午後9時くらいまでかかるようであれば、それなりに、私のように現場から直接来るような人間にとっては、いろいろな思いがある。本当に午後9時くらいまでか

かるということであれば、それなりの対応を取りたい。午後8時30分で止めるということであればそのように対応したいが、それはやってみなければわからないということか。

**【藤田会長】**

そういうことである。できるだけテーマを絞ってやっていただくようにしたいと思っているが、当然、質疑応答があり、地域協議会の委員になっていただいた以上は、いつまでも足踏みというわけにはいかないなので、きちんとした審議をお願いしたいと思っている。ということで、学習会はきっちりやっていきたいと考えている。

実を言うと、それを終わらせていただいた後に大浦安の3つの地域協議会の研修会の順番が浦川原区に回って来ている。ということで、終わってから、その協議を進めていきたいと思っている。その点を踏まえて協力いただきたい。

**【池田委員】**

今、市村委員から時間のお話があったが、皆さんは初めての委員が多く、私は4年間やらせていただいたが、時には夜の9時、10時まで緊急で会議をすることもある。やはりこの地域協議会委員の席に座るからには、いろいろな経緯、都合等はあるかと思うが、それなりの自覚を持って臨んでいただきたいと思う。私も微力ではあるがそういったことで4年間やってきたつもりである。

**【藤田会長】**

その他、何かないか。よろしいか。

(会場内から「はい。」の声)

それでは確認する、8月25日、木曜日、午後6時から地域協議会を開催する。その後、一度閉じてから学習会を行いたい。内容については事務局と詰めてそれなりの資料で、必要があれば事前にお配りするといった形にしたいと考える。

それでは、「(3) 地域協議会だよりの発行について」池田委員より説明をいただく。

**【池田委員】**

今回、地域協議会だよりの編集担当ということで、五十嵐委員、市村委員と私と事務局といろいろ打合せをして、ひな形ができ上がった。これは事前に皆さんから見ていると思う。全体的なレイアウトとしては昨年と同じように地域活動支援事業の採択とそれに付随するものといった内容になっている。皆さん事前に読まれていると思うので、構成に関すること、誤字脱字等あればご指摘いただきたいと思う。

**【藤田会長】**

これについて何か意見、誤字脱字等についてあればご指摘いただきたい。

**【総務・地域振興グループ飯野班長】**

補足させていただきたい。最初のページに「委員集合写真」の部分があり、これは4年前もそうだったのだが、委員が交代されたときに委員の集合写真を掲載させていただいた。よろしければ、本日、地域協議会が終わった後に撮影して委員集合写真といった形で掲載させていただきたい。

**【村松清委員】**

欠席者が1人いるが、どうするのか。

**【藤田会長】**

欠席者は別枠で入れるということはあるのか。

**【総務・地域振興グループ飯野班長】**

全体的なスケジュールを申し上げると、本日は25日であり、毎回、町内会長宛の発送文書と一緒に棚入れさせていただいているが、27日に間に合わせるために、大変恐縮であるが、欠席された金子委員については別途撮影させていただくよりも、欄の下に「金子委員は就任されたが、当日欠席」というように付記させていただきたい。

**【村松清委員】**

逆に「金子委員の欠席」は入れない方が良いのではないかと。

**【池田委員】**

個人的な考えだが、本日、金子委員が欠席されているが、写真は11人で撮って、事務局が言われたように、写真はないが名前は出していただいた方が良いのではないかとと思う。

**【藤田会長】**

顔の写真は入らないのか。もし、入らないのであれば言われたように当日欠席だったというより仕方がないと思う。その辺は池田委員と事務局とで打合せしていただき進めさせていただきたい。

その他、ないか。それでは、「(4) 地域協議会委員の勤務先への協力要請について」西山グループ長より説明をいただく。

**【総務・地域振興グループ西山グループ長】**

(資料5に沿って説明。)

**【藤田会長】**

勤務先にこの文書をお送りして協力いただくということで、あくまで、申し出のあつ

た方ということで、必要な方は申し出ていただくということでお願いしたい。

その他、何かないか。

**【村松進副会長】**

名刺はどうなっているのか。

**【総務・地域振興グループ飯野班長】**

委員の名刺については5月に希望を取らせていただいたところであるが、先週、自治・地域振興課の方から原案が届き、皆様からいただいた原稿と照合する作業を進めている。希望された皆様に来週には届くということになっている。

**【藤田会長】**

他に、ないか。

**【村松進副会長】**

もう一度、中学生との意見交換会の実行委員の名前を教えてください。

**【藤田会長】**

村松進副会長、池田委員、福井委員、西山委員である。

その他、ないか。よろしいか。

それでは、これで地域協議会を閉じる。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : [uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。